

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 1 部門第 1 区分
【発行日】 令和 7 年 2 月 18 日 (2025.2.18)

【公開番号】 特開 2023-157965 (P2023-157965A)
【公開日】 令和 5 年 10 月 26 日 (2023.10.26)
【年通号数】 公開公報 (特許) 2023-202
【出願番号】 特願 2023-134734 (P2023-134734)
【国際特許分類】

C 1 2 Q 1/6869 (2018.01)

C 1 2 Q 1/6851 (2018.01)

C 1 2 Q 1/6876 (2018.01)

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

【F I】

C 1 2 Q 1/6869 Z

C 1 2 Q 1/6851 Z

C 1 2 Q 1/6876 Z

G 0 1 N 33/50 P

G 0 1 N 33/53 M

G 0 1 N 33/53 D

【手続補正書】
【提出日】 令和 7 年 2 月 7 日 (2025.2.7)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被験者におけるアトピー性皮膚炎を検出するために、当該被験者の全顔から採取された皮膚表上脂質について、MECR、RASA4CP、ARRDC4、EIF1AD、FDF T1、ZNF706、TEX2、TMPRSS11E、RPS6KB2、CTBP1、ZNF335、DGKA、PPP1R9B、SPDYE7P、DNASE1L1、GNB2 及びCSNK1G2 からなる 17 種の遺伝子群より選択される少なくとも 1 つの遺伝子の mRNA の発現量を測定する方法。

【請求項 2】

前記検出が、発現量の測定値を前記各遺伝子の mRNA の発現量の参照値と比較し、アトピー性皮膚炎の存在又は不存在を評価する、請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

前記検出が、アトピー性皮膚炎患者由来の前記遺伝子の mRNA の発現量と、健常人由来の同遺伝子の mRNA の発現量の測定値を教師サンプルとして、アトピー性皮膚炎患者と健常人を分ける判別式を作成し、被験者の全顔から採取された皮膚表上脂質から得られた同遺伝子の mRNA の発現量の測定値を当該判別式に代入し、得られた結果を参照値と比較することによって、被検者におけるアトピー性皮膚炎の存在又は不存在を評価する方法であって、前記 17 種の遺伝子群の全ての遺伝子の mRNA の発現量が測定される、請求項 1 又は 2 記載の方法。

10

20

30

40

50